

ふたばこども園

園便り 9月号

ふたばっ子

令和3年9月1日発行

文責 園長 納富博文



デンファレ

※園日より「ふたばっ子」はホームページでもご覧いただけます。

二学期が始まりました

天気がよく猛暑の日が続く夏休みのスタートでしたが、8月中旬には「特別警戒警報」が数日も出続ける豪雨となりました。2年前の『佐賀豪雨』以上の降水量となり、被害も甚大だったようです。被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。14日(土)は大雨のため休園措置を取りました。ご協力ありがとうございました。幸い、園は水害等にあうことなく、通常通りに教育・保育ができることに安堵しました。

ただ、新型コロナウイルス感染症の流行が止まりません。時期的に遅いと思いますが、佐賀県にも「まん延防止等重点措置」が適用されました。人口が少ない小さな県で一日に100人以上の陽性者がある状況は危機です。人口10万人に占める陽性者率は、「緊急事態宣言」が出されている東京都よりも多くなっています。

今流行している変異株(デルタ株)は、感染力が強く、10歳未満や10歳代の感染者が急増しています。多くの園や学校でクラスターが発生しています。どこの園にとっても危機的状況になっていると言っても過言ではないようです。

こうした中、2学期が始まりました。子どもたちの元気な顔や楽しそうな声が園に戻ってきました。ほっとしているところです。

今学期も、これまで以上に感染対策を行いながら、子どもの命や安全を第一に考えた園の運営を行っていきたく思います。保護者の皆様には、いろいろご理解やご協力、ご辛抱等をおかけすると思いますが、どうぞよろしくをお願いします。

コロナの感染拡大が心配です

全国的にも、佐賀県でも新型コロナウイルス感染症の爆発的な流行が続いています。10代から40代の若い年齢層に感染が広がっているようです。保護者の皆様もどうぞ罹患されないように十分にご注意をお願いします。

こうした中、先日、メールでお知らせした通り、職員1名が陽性、もう1名が濃厚接触者となりました。陽性の職員は家庭内感染、濃厚接触者は子どもの部活クラスターによるものでした。(PCR検査の結果は陰性でした。)

ご心配をおかけしましたが、幸い2名とも休日であったり、休暇取得中であったりしたために、子どもたちや園との接触がなく、保健所からは感染の影響はないとのことでした。また、これまで通りの消毒を行っていれば大丈夫であるとの指導がありました。現在、陽性者は入院加療中で、濃厚接触者は2週間の自宅待機中です。

こうした状況を踏まえ、子どもたちの命や安全を守るために、より一層のコロナ対策を行いたいと思います。県教育長からの通知(ホームページに掲載)にありますよう、子どもさんの登園前の検温や体調観察をしっかりとお願いします。徹底をお願いします。そこで、発熱があったり体調がすぐれなかったりする場合(鼻水や咳、風邪の症状がある場合)は、登園の自粛をお願いします。「ほけんだより9月号」にも詳細を掲示しています。

一人の感染から、クラスターが発生しやすい環境にあるのが、こども園など幼児教育保育施設です。皆様のご理解とご協力がなければ感染を抑えることはできません。どうぞよろしくをお願いします。

二学期以降の園行事等について

コロナ感染症の流行が広がる中、2学期以降の園行事や運営について、園でも協議を重ねてきました。現段階においては、本配布しています「令和3年度 2学期以降の行事について(お知らせ)」の通りに行いたいと思います。

基本的には、参加者数の制限、検温や手指消毒の徹底、マスクの着用、「3密」の回避などの基本的なコロナ対策を行い、コロナ禍の中でできることを実施することにしました。詳しくは、配布のプリントでご確認ください。

ただ、新型コロナウイルス感染症の流行状況により、計画が変更になる場合もあります。ご了承ください。

園舎の補修工事について

0・1歳児園舎がここ数年の大雨により雨漏りがひどくなってきました。また、今回の豪雨でさらに雨漏りがひどくなったために、急ですが予定を前倒して、屋根の補修工事と雨漏り対策の工事を行うことになりました。工事は夏休み中に終わる計画でしたが、今回の豪雨と長引く天候不順のため、若干工期が後にずれてしまいました。

足場等をかけての工事です、ご迷惑をおかけしますが、お子様の送迎の際には十分注意をお願いします。